卒業生の声

３年間の学びが進路を後押ししてくれました

日野高校を卒業し、鳥取短期大学で保育を学んだ後、日野町立ひのっ子保育所で働いている坪内さん（後藤ヶ丘中出身）にインタビューしました。

Q1.　日野高校の３年間はどうでしたか？

A1.とても充実した高校生活でした。日野高校は、人数が少ないからこそ色んな人と話せる機会があり、仲良くなるのも早く、気心が知れて自分の意見が言いやすい環境でした。総合学科で将来に役立つ学びができ、主体性が育ったと思います。

Q2.　日野高校の学びはどのように進学先で活かされましたか？

A2.　もともと英語が苦手でしたが、進学系列の授業の中で、少人数で先生とマンツーマンで学ぶ時間が多く、基礎から丁寧に教えていただきました。おかげで大学でも英語の単位を落とさずにすみました。

Q3.　授業で印象に残っていることはありますか？

A3.「課題研究」で病後児保育について研究し、その必要性を役場でも発表しました。今少しずつですが病後児保育が日野町で広がっているのが嬉しいです。

Q４.　中学生にメッセージをお願いします。

A4.　日野は米子からは遠くて電車通学とかめんどくさいな～って思うかもしれませんが、とても自然豊かで、先生たちも面白くていい人たちばかりです。日野町に住んでおられる方も優しい方ばかりで、私もまた日野町に関わっていきたいと思い日野町の保育士になることにしました。ぜひ見学だけでも来てみてください！

日野高校では日野町ＪＫ課（地元改革課）に所属し、若い世代の活動が地域を元気にすることを実感した坪内さん。保育士という夢を日野町で実現した今、持ち前の明るさで子どもたちや保護者をサポートしてくれると期待します。

日南町の介護福祉人材育成奨学金を受け、YMCA 米子医療福祉専門学校で介護福祉士資格を取得後、日南福祉会で働く古澤さん（岸本中出身）にインタビューしました。

Q1. 日野高校の３年間はどうでしたか？

A1.とても楽しかったです。体育祭や文化祭などの行事でクラス一丸となり本番に向け準備をすることができました。少人数ということもあり、一人が何役も担うことになり、大変でしたが協調性が身につきました。

Q2. 日野高校の学びはどのように進学先で活かされましたか？

A2. 福祉の授業を選択し、介護の基本となる知識や技術を学び、介護職員初任者研修を修了することができたので、専門学校ではそれをいかしてより深く学ぶことができました。

Q3. 中学生にメッセージをお願いします。

A３．山に囲まれて田舎だなと思うかもしれませんが、四季折々の自然を堪能できるのは日野高校ならではだと思います。日野高校での地域の福祉施設の見学や実習、ボランティア活動などでの関わりが無かったら、日南町の奨学金制度を利用して進学することはなかったと思います。中学生のみなさんも、日野高校で地域の人とふれあい、自分の視野を広げてください。

高校時代は卓球部に所属しキャプテンとして皆から頼られる存在だった古澤さん。介護福祉士の国家試験にも無事合格し、信頼される介護士への第一歩を日南町でスタートさせた古澤さんは、地域社会を支える即戦力として期待されています。

鳥取県立農業大学校で花きを学んだ岩本さん（湊山中出身)、卒業後、日野町の農業法人し就職し、生き生きとはたらいでいます。

Q1. 日野高校を選んだ理由は何ですか？

A1. 農業に関して栽培方法等が学ぶ事ができるからです。専攻したアグリライフ系列では、農業をする上での基本知識や作物の種類や特性を学ぶ事ができ楽しかったです。

Q2. 日野高校の学びはどのように進学先で活かされましたか？

A2. 農大の花き科では、保育園や幼稚園、小学校などとの交流を行い、花の魅力を伝えるアレンジメント教室を行ったり、卒業式でのブローチ作りなどを行います。日野高校の２年生のときに「フラワーアレンジメント」の授業でアレンジメントを作った経験が、これらの花育活動に活かす事ができました。

Q3. 日野郡で就職しようと思った理由を教えてください。

A３. 日野高校と縁のある場所でもありますし、のどかで綺麗な空気の中で大好きな農業をしたいと思ったからです。「課題研究」でも、日野振興センターの方や日野高校魅力向上コーディネーターさんなど、日野郡のみなさんは優しく助けてもらったこともあり、日野郡にいいイメージがありました。

Q４. 中学生にメッセージをお願いします。

A4. これから、それぞれの夢に向かって頑張って沢山学んでいってください！人生は常に勉強です！！

日野町での就職にあたり、日野町で一人暮らしを始めることに不安のあった岩本さんを、日野町のみなさんが温かく向かい入れてくれてうれしかったそうです。高齢化が進む日野郡において、若い人が地域の一次産業の担い手として来てくれたことは、日野郡のみなさんを元気づけることにつながっています。